

平成 21 年 12 月 24 日

各 位

帯 広 信 用 金 庫
理 事 長 増 田 正 二

元職員による不祥事件の発生について

このたび、当金庫におきまして、元職員が支店金庫室内の現金を着服するという不祥事件が発生しました。

社会的・公共的な役割を担い、健全な業務運営を通じて地域経済のインフラとしての役割を担う金融機関におきまして、このような事件が発生しましたことは、誠に申し訳なく、深くお詫び申し上げる次第でございます。

当金庫といたしましては、かかる事態を厳粛に受け止め、深く反省いたしますとともに、今後、再発防止に向けて職員の指導教育を徹底し、法令等遵守態勢および内部管理態勢の一層の充実・強化に全力で取り組んでまいります。

記

1. 事件の内容

元職員が、平成 21 年 6 月から 11 月までの間に、支店金庫室内の結束紙幣から現金を抜き取り着服した事件です。複数回にわたり着服し、累計金額は合計 50 万円で、着服した現金は遊興費等に充てていた模様です。

なお、着服金につきましては、すでに元職員から全額が返済されており、当金庫には実損はありません。

2. 判明の経緯

出納係であった当該元職員の休暇中、出納代行者が金庫室内の現金の異常に気付き、着服の事実が判明いたしました。

3. 関係機関への届出等

監督官庁に対し法令に基づき 12 月 14 日届出いたしました。

また、警察に対しましては、本日通報しております。なお、着服金が全額弁償されていること、本人が罪の大きさを猛省していることなどから告訴はしておりません。

4. 関係者の処分

元職員は平成 21 年 12 月 8 日付をもって懲戒解雇処分といたしました。

役員および関係職員の処分につきましては、内部規程に基づき厳正に処分いたします。

5 . 再発防止策

このたびの不祥事件を厳粛に受け止め、厳正な現金取扱いについて全職員に改めて強く自覚を促すとともに、現金保管方法とチェック体制を厳格化すべく見直しを行い、再発防止に向け、法令等遵守態勢および内部管理態勢の一層の充実・強化を図り、信頼回復に全力を挙げて取り組んでまいります。

以上

本件に関するお問い合わせ先

帯広信用金庫 経営企画部 担当 小森・竹田

0155-24-3171